# 確　認　書

　ボルダリングは、注意をしないと重大な怪我につながる場合がありますので、安全にご利用いただくために、特に次のことを固く守ってください。
　読んで内容を確認されたら□にチェック（☑）してください。

チェック
□　① 大人が補助をして、子どもと大人が　１対１　で行う。

□　② 靴下をはいて利用する。

□　③ マットの上で走ったり、転がったりしない。

□　④ 登り降りの途中で、壁の上の方から飛び降りない。

□　⑤ ゴールより上には登らない。

□　⑥ 他の登っている人に近づかない。

□　⑦ 補助者は、周りの利用者に気を付けながら、登っている人から目を離さない。

□　⑧ 補助者や保護者は、壁に登らない。

□　⑨ 補助者による撮影行為は禁止します。

　ボルダリングは注意をしないと重大な怪我につながる場合があることを理解したので、裏面の注意事項も熟読し、これらのことを守ることを約束します。

　令和　　年　　月　　日

保護者氏名

（利用者との続柄　　）

（小学５年生・６年生で保護者の補助を受けずに利用する場合は記入不要です。）

利用者氏名

●ご利用の前に
・健康に不安がある人、途中で気分が悪くなった人は直ちにボルダリングを中断してください。
・靴下をはいて利用してください。
・腕時計やアクセサリーは外してから利用してください。
・手荷物やポケットの中の物をすべて出してから利用してください。
・爪が長いまま利用すると、割れたりはがれたりする危険があります。
・眼鏡をかけている場合は落とす危険がありますので、十分注意してください。
・ホールドに引っかかったり絡まったりしないよう、動きやすい服装で利用してください。

●ご利用中は
・テープで示されたコースに沿って進んでください。
・疲れたら無理をせず、利用を中止してください。
・登っている人と補助をする人以外はマットの上に乗らないでください。
・飛び降りず、危険がない高さまでホールドを使って降りてから両足で着地してください。
・着地場所に人や、障害物がないか、柵にぶつからないかを必ず確認してください。
・補助者以外は、登っている人に近づかないようにしてください。特に、登っている人の下に入らないでください。
・壁や柵とマットの隙間、床とマットの段差に注意してください。
・ホールドのぐらつきを発見した場合は使用を停止し、係員にお知らせください。
・見守りの補助者による撮影行為は禁止します。
・保護者等は壁に登らないでください。

《エンジョイタイム》
・補助者１人につき複数人の子どもを遊ばせることができますが、補助は１対１で行ってください。
・補助者１人につき制限時間を１０分とするため、複数人の子どもを連れている場合は、１０分の間に交替させて遊んでください。
・壁に上らない子どもは柵の外で待たせることとし、交替の際は他の利用者に十分注意してください。
・小学５−６年生のみ単独利用可とします。

《チャレンジタイム》
・補助者１人につき１人の子どもを遊ばせることができます。
・小学５−６年生のみ単独利用可とします。
・複数人の子どもを連れている場合は、先の子どもが遊び終わってから次の子どもを遊ばせることとし、順番は別々に確保してください。
・前の人との距離を十分にあけて利用してください。
・壁の上で縦に重なることのないように利用してください。
・前の人に追いついた場合は、譲り合って利用してください。